

実践報告「描いてみよう！ つながるいのち」

井上 博夫

2011年5月3日～5日の3日間、イベントで1本の木のいのちのつながりを描いてもらいました。そのときの模様を報告します。

テーマ：「ちょびっとアート」～みじかなアートを楽しもう～共催かえっこバザール体験型ワークショップ

日時：2011年5月3日～5日 10:00～16:00

場所：サンポート高松デックスギャラリー、
オープンホワイエ

対象：こどものココロを持った方

内容：

- 1)描いてみよう！ つながるいのち：1本の木のいのちのつながりを1.8×2.7mのキャンバスに描いてもらう。
- 2)絵コロジエ：普段行っているエコやこれからやってみたいエコをA4用紙に描いて掲示する。
- 3)名探偵：森や林に隠れている生きもの探し。
- 4)三択エコクイズ：3Rクイズ。
- 5)野鳥型紙飛行機づくり：千代紙で日本の美の1つを体験する。
- 6)ウッドアート：廃材の木っ端に生きものを描いて持ち帰る。



かえっこバザールというのは、おもちゃのリサイクルイベントで使わなくなったおもちゃを持っていくとカエルポイントと交換、また会場のさまざまな体験型ワークショップに参加すると内容によってカエルポイントがもらえる。さらに、ワークショップでお手伝いをしてポイントを稼ぐこともできる。貯まったポイントは、世界共通のエコマネーと交換し、毎日最後に行われるおもちゃのオークションに参加できるというものです。私は、4年前から参加し、最近では年2回応募して手伝っています。

私のブースでは、6つのコーナーを設けました。3日間で延べ700名を超える参加者がいて盛況でした。1日立ちっぱなしなので疲れましたがね。

ブースでは、坂庭省吾の曲「私の好きな木」（原題「一本の樹」。詞：長井三郎、曲：坂庭省吾、演奏：坂庭省吾、進藤了彦（お二人は元ナターシャ・セブンのメンバー））を流しました！ このCDは、京都で長年「私の好きな木」という1本の木から学ぶ活動をされている先生からこの日のためにいただいたものです。





「この木のいのちのつながりを絵にするから、木に集まってきそうな生き物を描いてね」といったら、金魚やペットを描く子もいれば「私」といって自分を描く子もいる。面白い。こっちの思惑では、日本の里山だが、ワニやゾウ、コーカサスオオカブトなど外国の生きものを描く子もいた。

日本の木とは言っていないので「これもありか」と思いました。できれば海までつながればと思っていましたが、そこまでは欲張りか（笑）。でもいろんな生きものが木を通してつながっていることは、理解してもらったのかなと思っています。

キャンバスにオークの木を描きましたが、モチーフは『オークの木の自然誌』（リチャード・レウイントン著、ディビット・ストーリー絵、池田清彦訳）です。そこには、四季の木の移り変わりとその季節に集まってくる生き物が描かれています。絵本「The Tree and the Seasons」をもっと専門的にした本なので、「一本の樹」の曲がマッチしていましたことを伝えておきます。